

令和2年度の教育活動等に対する学校評価書

令和3年3月10日

学校法人さなる学園さなる幼稚園

園長 今井 寛

学校法人さなる学園さなる幼稚園学校関係者評価委員会

監事 佐藤 裕美

1 幼稚園の教育目標

素直で明るくたくましい子どもを育てる

2 本年度の重点目標

・自分の思いを出しながら幼稚園生活を楽しむ ・友だちとの関わりを大事にしながら自分の思いを出すことができる ・集団で1つの目標を目指すことができる

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園としての反省と改善点	評価点	評価・意見
教育内容	保育の計画	B	幼稚園教育要領の理解と保育現場での実施をより深めた内容を検討していく必要がある。	B	自己評価の反省を踏まえ、より教育の資質向上を図るよう期待する。
	教職員体制の充実	B	職員個々の仕事の量と質に関しより計画性をもって行う必要がある。	B	より健全な職務体制を整備することが望まれる。
	教育環境の構成	A	施設設備・遊具の定期点検や必要に応じた新規導入、修繕等は概ね実施できた。	A	引き続き同様の努力実施を期待する。
	研修や研究	A	外部委託の講師による園内研修やハンドブックの活用等、資質向上に充てた活動が実施できた。	A	今後も実りある研修活動を展開し職員の資質向上を図って頂きたい。

安全管理	侵入者・来訪者への安全対策	B	適宜施錠や監視カメラの活用を行っているが、更なる配慮が必要である。	B	保護者の視点でのアイデアや工夫を提案していきたい。
	施設・設備に対する安全対策	A	前項「教育環境の構成」に同じ	A	前項「教育環境の構成」に同じ
	衛生に対する安全管理	B	園児個々の意識を高めるよう、職員に周知徹底しているが、更なる努力が必要である。	B	コロナ禍の重篤な状況を考慮し、保護者への呼びかけなど、各家庭での意識づけや協力体制も必要である。
	園児に対する安全管理	B	室内外での活動に伴う園児の怪我也も少なくないため、更なる指導の徹底が必要とされる。	B	成長過程での偶発的な怪我もあるが、保育活動や友達との関わりに支障なきよう今後も指導されたい。
	通園に関する安全管理	A	バスコースの適宜見直しと、到着メール配信の活用など、保護者の負担軽減を概ね実施できた。	A	今後も、保育に支障のない安心安全な運行管理に期待する。
人事管理	教育目標のための人事・採用	A	資質能力を有する新卒者やキャリア採用充実のため、今後も養成校・ハローワークとの連携を図る。	A	就労者減少という難局を踏まえつつも、安定恒常的な職員配置を目指し、今後も努力されたい。
	募集・採用の適切な実施	B	次年度の退職希望者の適時適切な把握と、それに伴う募集・採用を実施する必要がある。	B	前項「教育目標のための人事・採用」に同じ
	雇用条件の理解	B	内定者へのガイダンスを実施し更なる雇用条件の周知徹底に努める必要がある。	B	以後も周知徹底を図るよう、努力されたい。
	労務管理	B	労務士指導に基づく労務管理の見直しを図っていく必要がある。	B	時局に照らし合わせた労務管理を今後も図って頂きたい。

	健康管理	B	健康診断だけでなく、必要に応じてカウンセリングを実施する等、心身伴うケアに努めたい。	B	左記のとおり努力をされたい。
	コミュニケーション	B	クラス、学年間での意思疎通を密にし、園長以下職員全体での周知徹底を図ったが、充分ではない。	B	職員間のコミュニケーションをより密なものとし、健全な職務体制や人間関係を構築して頂きたい。
	資質の向上	A	加盟団体主催の研修会参加や、前項「研修や研究」記述のとおり積極的な活動が実施できた。	A	今後も同様に努力されたい。
財務管理	予算策定の基準	A	管理者や担当者の供覧総意のもと予算の策定が実施できた。	A	今後も同様に努力されたい。
	必要な予算の改定	A	県経常費の補助対象を把握し、補正改定等、必要な財務事務を概ね遂行できた。	A	今後も適切な予算の改定事務に努力されたい。
	決算内容の把握	C	上項を鑑みた決算処理が必要であった。	A	左記自己評価に十分配慮し、今後改善努力されたい。
	決算の公開	A	監査報告に基づく決算の公開が掲示板、園ホームページにて適時適切に実施された。	A	公開の必要性に関し、特に関係外部に対しては些か疑問に感じる所もあるが、今後も適切に実施されたい。
	適切な納付金額の設定	B	適切な設定であると考えているが、保護者個々の捉え方も一様でなく思案の絶えぬ案件である。	A	事前説明、提示に基づく納付金額であり、著しい財務管理上の支障もなく、適切な設定であると考えている。
	適切な物品購入	B	計画的な購入が難しい物品もあり、十分な検討を経ないケースもあったが、概ね適切に実施できた。	A	今後も同様に努力されたい。

※ 評価結果基準

A	十分に成果があった
B	成果があった
C	少し成果があった
D	成果がなかった

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
<p>本年度から年度間一元的となった幼児教育・保育無償化制度への対応については、事前の保護者への事務説明・周知及び施行後の納付金処理や行政事務処理等、概ね問題なく実施できた。</p> <p>経理については、県経常費の補助対象を理解把握し、財務処理する必要がある。職員の人事管理、職務体制についても、勤務カレンダー等の整備に基づき、更なる徹底管理を図る必要がある。</p> <p>また一連のコロナ禍に対し、次年度始業における状況を十分配慮した上で、保育スケジュールを立案検討し、都度柔軟に対応しながら保健面での安全管理を徹底していく必要がある。</p>	<p>幼児教育・保育無償化制度一元年度を実施した中で、行政所管課との事務連携、保護者への周知・理解は概ね推進できたので次年度以降も継続的に取り組んでいく。</p> <p>また労使協定に基づく労務管理を徹底し、職員周知理解のもとこれを実践していく。</p> <p>一連のコロナ禍に対して、行政や地域自治体、加盟団体との連絡や情報交換をより強化し、安心安全を確保した対応をしていく必要があり、既在園及び新入園児への周知理解と協力を仰いでいく。</p> <p>施設面では次年度始めに空調設備の全面導入を実施するためその運用についても健全に遂行できるよう図っていく。</p>

理 事 長	園 長	係
		